

復習用スライド

前回の復習

05月16日の講義

前回の課題

- ✓ 市場社会の原理を考察した。
 - ✓ 資本主義社会と、イノベーションを巡る企業間競争との基礎として
 - ✓ イノベーションにおける資本主義的営利企業の優位性の確認のため
 - ✓ 資本主義社会の原理との対比のため
 - ✓ 資本主義社会の原理との対立関係の上に現代経済が運動しているということを明らかにするため

〇〇社会としての現代社会

- 現代社会は、社会的に生産されている富が基本的に〇〇で交換されているような社会である。
- この意味で、現代社会は 社会である。

本来の私的生産

- 市場社会の原理と成立根拠、前近代的共同体から切り離された私的個人がただ市場を通じてのみ、ただ物件（商品・貨幣）を通じてのみ自己責任と自己利得で社会的分業を達成するという事にマッチする本来の私的生産は私的個人による生産、すなわち 業者による私的生産である。

本来の私的生産の限界

- 本来の私的生産は労働の社会的な生産力を使えない（多くの人を雇って協力させ、大規模な固定設備とR&D費を費やして生産することができない）という点で社会の生産力上昇への貢献に限界があるし、なかなか資本主義的営利企業との競争に勝てない。
- また、従業員を雇用しない以上、社会の圧倒的大部分を市場に依存させるということ、つまりそもそも市場社会を形成するということができない。

解答

1. 市場
2. 生産
3. 形式
4. 目録